

埼玉県地域枠プログラム

埼玉県は人口あたりの医師数が全国最下位であるうえ、人口の急速な高齢化も見込まれ、今後さらに医療需要が増加すると思われます。また、地域偏在や診療科偏在などの問題も指摘されています。このような課題に積極的に取り組んでくれる意欲ある医学生を支援するため、平成 22 年度入学生から埼玉県地域枠奨学生を募集してきました。令和 7 年度入学生まで合計 246 名の医学生に本奨学金が埼玉県より貸与されており、埼玉県の医療への貢献が期待されています。

このような埼玉県地域枠奨学生のため、将来に役立つ学習機会を設けました。進級には関係ありませんが、本プログラムを活用しての積極的学習が強く期待されます。なお、本プログラムは、埼玉県のキャリア形成卒前プランに該当します。

1. 課外学習プログラム

(1)「埼玉の医療」学習会（全学年推奨、地域枠学生 1 年生必修）

月 1 回程度、埼玉県の医療について学習します。地域で活躍している医師、埼玉県で保健医療行政に取り組んでいる方、などによる講演会のほか、奨学生がお互いに地域医療についてどのように考えているのかといったテーマでの意見交換会などを予定しています。

(2) 埼玉県知事表敬訪問（地域枠学生 1 年生必修）

平成 29 年度より、地域枠奨学生 1 年生全員で埼玉県庁に県知事を訪問します。1 年生全員の決意文を小さな文集にしてお渡するとともに、県知事から激励の言葉をいただきます。

(3) 利根川プログラム（地域枠学生全学年、在学中 1 回は参加*）

夏季休暇および春季休暇を利用して、群馬大学学生と県境地域の病院見学と合同演習に参加します。大学からの教職員が同行してバスツアーを行います。積極的に参加してください。

(4) 夏季・春季地域病院見学（地域枠学生全学年、在学中 1 回は参加*）

夏季休暇および春季休暇を利用して、将来地域枠奨学生が勤務することになる特定地域指定医療機関の見学を行います。1 日か 2 日程度の見学で、低学年も参加できます。各医療機関の雰囲気や実際の姿を感じていただくためにも、積極的に参加してください。

(5) 秩父を知ろう（地域枠学生 1 年生必修*）

3 月下旬の 2 日間、医師不足地域の秩父市で開催します。市長への挨拶、市役所職員からの説明、地域散策、地域住民や医師とふれあいを通し、秩父地域の理解を深めます。

(6) 自治医大学生と共同の夏季研修（地域枠学生全学年、任意）

8 月下旬の 3 日間、自治医大学生主催の研修会に参加します。秩父市大滝地区において住民の方への健康教室や地域医療フォーラムを行うことを通して、地域医療に触れ、将来ともに地域医療を担う自治医大学生との交流を図ることを目指しています。参加人数は限られていますが（数名以内）、積極的に参加してください。

2. 選択必修（1 年生）「地域医学・医療学入門」（地域枠学生 1 年生必修）

地域医療を学ぶ基本として、地域とは何か、現在あるいはこれからの地域医療に携わり地域住民の健康を守ることのできる医療人・医師に求められる考え方や技術を身につけることを目的として、埼玉県内の自治体の地域診断を行います。選択必修ユニットにおいて、前期月曜日に 2 コマ 9 回開講します。

3. 選択必修（2 年生）「総合診療とプライマリケア」（地域枠学生 2 年生必修）

将来、地域医療に携わり地域住民の健康を支えるためには、専門とする診療科に関わらず、総合的にひとをみることのできる医療人になることが社会からは求められています。2 年生の早い

時期から総合診療とプライマリケアの考え方を事例を通して学びます。選択必修ユニットにおいて、後期月曜日に2コマ9回開講します。

4. クリニカル・クラークシップ Step3 特定地域指定学外施設実習（地域枠学生6年生必修）

将来、勤務することが期待される特定地域の指定医療機関で、6年生で4週間実習します。事前に地域診断を実施し、地域を理解してからの実習で、地域での学びが深まる事が期待されます。

5. 大学間連携 IPW 演習・IPW 実習（地域枠奨学生3～6年生選択必修）

平成24年度から埼玉県立大学、城西大学、日本工業大学と本学と埼玉県とで協定を結び、取り組んでいる彩の国連携力育成プロジェクトが開講する科目として、大学を超えて専門職連携、チーム医療を模擬的に学びます。下記（1）（3～6年生）または（2）（4年生）を在学中に1回以上、（3）は3年生全員が履修してください。

（1）課外プログラム「彩の国大学連携 IPW 実習」（3～6年生対象）

本実習では他領域の相互理解、チーム形成、患者利用者地域の課題解決のプロセスを体験し、自らの行動を振り返り(省察)、将来に活かすことができるようになることを目標としています。毎年夏季休暇の後半4日間、3～6年生が参加することが可能です。4大学の3、4年生と合同のチームを作り、3日間の保健医療福祉施設での実習と最終日に報告会を行います。他の専門職との連携を学生時代に模擬的にでも経験することで、将来地域医療の現場でチーム医療を行うために必要な基本的な価値観、スキルを身につけることができます。

（2）「導入クリニカル・クラークシップ 2-1 地域医療実習 IPW 実習」（地域枠学生4年生必修）

埼玉県立大学と本学の2大学の学生が参加して、毎年10月に4年生の正規のユニット内で選択必修として行います。埼玉県立大学では5学科の4年生が必修科目として県内約70箇所の施設で実習を行います。県立大学の学生5人と本学学生1人がひとつのチームになり2回のオリエンテーションを経て4日間の実習を行います。

（3）「地域医療とチーム医療 3 緩和医療 IPW 演習」（地域枠学生3年生必修）

埼玉県立大学3年生が履修する科目と同じ目標とし、末期がんのシナリオで模擬患者の協力を得て、模擬的に専門職連携を学ぶ演習です。12月の金曜日の午後を実施します。城西大学薬学部を会場に、埼玉県立大学、日本工業大学の学生とともに、患者さんのより良い暮らしの実現を目指した支援について考えます。

6. 埼玉県地域枠奨学金に関する懇談会（地域枠学生全学年必修）

地域枠奨学生、埼玉県保健医療部医療人材課、学内関連教員をまじえて懇親を深める会を年1回（12月頃）行います。埼玉県地域枠奨学生は**全員出席**してください。

7. 埼玉県地域枠新入生ガイダンス・交流会（地域枠学生全学年必修）

埼玉県の地域枠新入生のガイダンスに併せて1年間のスケジュールの説明、新入生との交流を深める会を開催します。在学中から卒業後9年間を共にする仲間、先輩後輩の強い絆を作ることを目的としています。埼玉県地域枠奨学生は**全員出席**してください。

★その他、地域枠学生の支援としてのアンケート調査、面談等の実施、シンポジウムへの参加、埼玉県医師会事業への協力、リレーフォーライフジャパン川越への参加、地域医療に関する研究など、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業や彩の国連携力育成プロジェクトの中で実施する様々な取組への参加を推奨しています。

*：令和7年度入学生から適用

担当

医療人育成支援センター地域枠奨学金部門、地域医学推進センター

医学教育センター卒前医学教育部門地域医学推進室

問い合わせ先：医学部事務室学務課 外線 049-276-1109 内線 41-2020